

リスクコミュニケーション

リスクコミュニケーション

ハザードマップの活用(草津市)

住民協働によるハザードマップ作り
 浸水想定区域図を基に、住民自ら避難経路
 等を選定し、洪水ハザードマップ作りに参画



ハザードマップ配布に合わせた洪水避難訓練
 マップの配布5月1日、訓練実施5月27日
 行政内情報伝達演習
 洪水避難訓練
 洪水に対する体験と学習
 水防訓練

記録報告 1

平成19年草津市における
 平成19年5月27日(日) 9:00~12:00実施 **洪水避難訓練**

草津市では、5月1日に各家庭に洪水ハザードマップが配付され、これにあわせて、5月27日に洪水避難訓練を行いました。この訓練では、洪水避難経路、水防訓練、行政内情報伝達訓練の後、若狭東小学校では洪水に対する体験と学習コーナーが設けられ、市民や防災に関わる行政関係者が洪水が起こったときの「適確」な「着法」について多く学ぶ機会となりました。

洪水避難訓練 (参加者: 858名)

- 事前にお願いしている洪水避難訓練センターの力を効果的に活用しました。洪水を想定し、広報車などによる避難に関する情報をセンターの方が受け、洪水ハザードマップを参照し、避難場所まで徒歩で避難する訓練でした。

行政内訓練情報伝達訓練

- 行政内(国土交通省 群馬県庁、群馬県、沼田県、草津市)において、避難や水防など避難の知識となる資料の共有を行いました。訓練開始に言葉をいきました。

洪水に対する体験と学習 (参加者: 約80名)

- 体験と学習の様子

水防訓練 (参加者: 144名)

- 水防技術専門員、市民の指導のもと水防団のみならず、草津工業の協賛による水防ポンプ、浸水からの放水を想定した工場の構内が訓練に活用されました。

①水中歩行体験
 ● 洪水時の移動の困難さや避難性を体験するため、水防ポンプと水防ポンプを駆使して歩きました。

②家内体験
 ● 避難経路確認で避難を体験しました。

③救助補助体験
 ● 避難者多人数と、水防ポンプによる救助の難しさを体験し、救助の大切さを学びました。

④避難所体験
 ● 避難所までの手配などについて体験しました。

⑤洪水ハザードマップ
 ● 5月1日に配布された洪水ハザードマップについての疑問などに答えました。

⑥救助物資支援
 ● 災害時救助物資支援車

出典: 草津市H32